

答 弁 書

【質問項目及び内容】

1 スポーツの振興と千葉公園体育施設の整備について

(1) スポーツ振興について

ア アスリートやその指導者と市民が触れ合うイベント等をつくることも必要と思うがいかがか

(2) 千葉公園体育施設の整備について

ア 一般的なコンクリート建築物は耐用年数50年とされているが、千葉公園水泳プールは60年以上を経過している。また、プールにろ過機を設置しているが、これらの設備は既に耐用年数を過ぎていると思われるが、当局のご見解を伺う
イ 千葉公園水泳プール整備を早急に具体化することが必要であると考えているが、いかがか

【答 弁】

1

(1)

ア 東京2020大会でのアスリートの活躍は、多くの方がスポーツの魅力を感じ、スポーツに対する意識と関心の向上や、参加意欲醸成の絶好の機会となったと考えております。

アスリート等と市民が触れ合うイベントについては、大会の機運醸成とともに、スポーツの振興や多様性に対応した共生社会の実現に向けた取組として、これまでトップスポーツ選手やチームによる学校訪問、講演会、体験教室などを繰り返し実施しており、大会後も、市民がスポーツに触れ、関心を持ち続けられるよう、更なる交流の機会の創出に努めて参ります。

(所管局：市民局)

(2)

ア 千葉公園水泳プールは、昭和35年7月に開設されましたが、鉄筋コンクリート製のプール本体に関しては、現在の施設状況から見ると、当面の供用に当たって老朽化により大きな問題が発生するリスクは低いと考えております。

一方、ろ過設備に関しては、ろ過タンクなど耐用年数を超過しているものもあることから、今後も機能を維持していくためには、更なる対応が必要になると考えております。

これまで、千葉公園水泳プールについては、毎年、夏期のプール開設期間の前後に点検を実施するとともに、適宜、ろ過タンクの塗装、循環ポンプの交換等、各設備類の維持保全を行うなど、プール運営に支障のないよう、取り組んで参りますが、引き続き、市民の皆様が安心して御利用いただけるよう、施設の適切な維持保全に努めて参ります。

(所管局：都市局)

イ 千葉公園水泳プールについては、建築から60年以上が経過し、施設の老朽化が著しい状況であると認識しており、千葉公園全体の魅力向上や周辺地域の活性

化を図るために、令和元年度に策定した千葉公園再整備マスタープランにおいて、大規模な改築を行うこととしております。

具体的な内容については、今後、各競技団体の要望、市民ニーズ、整備費用などのライフサイクルコスト等を総合的に勘案し、必要な機能や規模について検討して参ります。

(所管局：市民局、都市局)